学校教育自己診断の結果と分析 [平成 26 年 12 月実施分]

・年度当初から「わかる授業」をめざし、アクティブラーニング導入を推進してきた。数名の先生方が様々な形で取組みを行っているが、継続的に推進を図る。

全体としては「意見を発表する」「体験的に学ぶ」などの項目についての評価はあまり高くない結果であった。次年度も言語活動を取り入れた授業や体験的に学ぶ機会を取り入れた授業の推進を行う。

・1,2年生において、緊急避難時の行動についての理解ができていないことがわかった。訓練の方法、周知の方法の見直しをすすめる。

・LD(産業社会と人間)の授業の取組みもあり、キャリア教育や進路指導についての評価は高かった。

・H25 アンケートでは教育相談についての周知があまりできていない結果であった。今年度は「教育相談だより」を定期的に発行するなど情報発信に努めた結果、生徒の認識。理解の面で成果がみられた。